

COLUMN

鎌倉の猫事情 第九十三話



昨年の暮れ、獣医さんの手当ての甲斐あって2度目の命拾いをしたグーニー君、彼の変わり身は、なかなかどうして見上げたものだと思うのです。グーニーにとって3度目の人生(?)を歩き始めたようです。1度目は、少年時代。私達飼い主の庇護のもとで可愛がられ、悪戯しほうだいし、スィーピーという許婚を得て、初恋もしました。小さなカップルが始めて踏み出した世界でじゃれあい、戯れていた頃は、どれほど可愛かったでしょう。それから、まもなくグーニー君も父猫になったのです。そこからはグーニーの2度目の人生です。その頃は一番元気で腕っぷしも強く、そこらじゅうで喧嘩して帰ってきました。彼にしてみると、大事な家族の縄張りを守っていたつもりでしょうけれど、喧嘩相手を見つける度に、大怪我したり、襲撃されたりはた迷惑なことでした。その頃大変な病気もして生死の間をさまようことがあっても、喧嘩腰の大きな態度に変わりはなかったのですが、去年の暮れの命拾いからは、すっかり態度を改めてしまったのです。鳴き声もなんとなく甘えた声になり、ご飯は、誰かが一緒に食べてあげないと口をつけないほど頼りきっています。もともとお行儀は良いほうですが、まあ、すっかり前足を揃えて人間の顔を見上げて甘えた声でおねだりするのですから、大抵の人は言う事を聞いてしまいます。あれほど喧嘩早かったのに、もう喧嘩も無益だというように無駄な争いをしなくなりました。いや、そればかりではないかも・・・ 喧嘩相手にも道を譲るというか、何しろ違うんです、今までとは。グーニー君の第三の人生・・・ う〜ん、教訓にもなりそうです。



——to be continued



Café

good bye! Milk Hall

No.4 ミルクホールの経営難

ミルクホールの37年間の歩みって何だっただろうと考えると、いつもいつも経営難に悩まされ続けてきたと言っても過言ではないです。殆どの店主や小さな企業のおやじさん達も同じなんだろうなと、思いますが。個人商店は、失業保険や、退職金なんかとは無縁です。一期一会の商売です。気楽で脳天気な方でも悩みはつきません。色んな事件があった中でももっとも印象深いのが、1995年1月17日の阪神大震災でした。その頃私達は、アンティーク家具を関西や中部地方から仕入れており、その日の早朝も仕入れの為に関西へ向かっていました。その道すがら続々と入るニュースで大変なことが起きていることを知りました。私達の協力業者の方たちも随分被害を受けたり怪我をしたりしたのです。影響はその後日本各地に出て、日本中の観光地に人が行かなくなったのです。6000人以上の人が亡くなったのですから、誰もがとても行楽する気持ちにならなかったのです。そして、3月、東京の地下鉄でオウムのサリン事件が起きました。怪しい風聞も流れ、日本全体が暗く沈みました。この2つの事件で観光地は大変打撃を受けました。この頃がミルクホールの転換点だったと思います。鎌倉という恵まれた観光地で喫茶店をやっているというだけでは、生きていけないという事を自覚しました。アンティーク家具の修理や製作にも力を入れ、ミルクホール主催の骨董・ガラタ市を伸ばして行って、観光以外でもお客さんが来てくれる店を作っていくようにスタッフ全員が努力しました。その努力は次第に報われるようになり、ミルクホールの蚤の市には、沢山のお客さんが集まるようになり、その後数年の間はミルクホールの歴史の中でも、経営的に大変うまくいった時代だったのです。ただ、静かに珈琲を味わう店であるはずのミルクホールが、時に沢山の骨董品や人でごった返すことも度々で、昔からのお客さんにはがっかりされることもあったのです。そしてまた数年を経ると、ミルクホールの景気の良い時も終わっていったのです。振り返ると1995年のあの2つの事件は、日本の社会にとっても転換点だったという気がします。それまでには無かったような不可思議な事件が起きるようになり、安心して暮らしていけないような空気が出来てしまったのかしらと、感じます。小さな店の経営難に悩み、大きな社会の変化に怯えながらも、ミルクホールに沢山の人が集まって下さるのを見ると、ここに来てくれる人達がいつまでも安心して何十年も前と変わらずに珈琲が飲めるように頑張ろうと思えるのです。 次号へ



Information

ミルクホールタイムズ編集部より

ミルクホールタイムズは毎月25日に発行しております。

今年7月よりの改築工事の記念として、お客さまのミルクホールの思い出となるお話を伺いしたいと思っています。

何かありましたら、ご投稿くださるようお願いしています。



PHONE 0467-22-1179

FAX 05034882872

e-mail/ info@milkhall.co.jp

LIVE

ミルクホールの BAR TIME を
ライブでお楽しみ下さい。

by HALF MOON

2/20

Sat.

琢磨 仁
琢磨 啓子

19:30~

HALF MOONは、愛と平和を歌います。

2010 Milk Hall

通信



2010年5月、ミルクホールのアンティーク店
を閉店いたします。20年間開催いたしました
ミルクホールの蚤の市も、残すところ三回と
なります。在庫処分の蚤の市、ご期待下さい。



ミルクホールの蚤の市は、毎月一度
テーマを決めて、開催いたします。

3/27 Sat. 28 Sun.

♠ 和洋家具

3月は、和洋家具 日本の木のもの
を中心に。日本の和洋家具・建具など
昔の職人の造りの良さが魅力です

4/24 Sat. 25 Sun.

◆ アンティーク

4月は、懐かしいガラス器、
ランプシェードなど

5/11 Tue. --- 16 Sun.

ミルクホール 骨董・ガラクタ市 骨董
蚤の市 アンティーク
きもの

ミルクホール 最後の蚤の市

長年のご愛顧に感謝し、
蚤の市終了後、改修工事に入ります。

Milk Hall News 2010

2010年 7月 ミルクホール 再生へ

ミルクホール37年間との別れ、そして、次世代への伝言

1972年、ミルクホールはその頃まだ静かな町だった鎌倉の裏通りに小さな彫金アクセサリーの店としてオープンしました。そしてその約4年後の1976年に、喫茶室と夜お酒が飲めるBAR ROOMまでを完成させ、今のミルクホールの形になりました。37年間、危い事も経験しながらどうにか営業続けて参りました。37年を振り返ると、人が生まれ、育ち、そして老いて行くさまのようだったと感じます。まるで人生のように悲喜こもごもがありました。文字通りマスターの手の中から生まれたミルクホールです。柱も壁も窓もカウンターも一つ一つその手で作った店でした。その後も改修の度にこつこつと皆で直し、労ってきましたが、ミルクホールの老獺ぶりは限界にきています。私達は今ミルクホールと一度決別し、今年の夏7月より、改築することを決めました。マスターは、今年60歳、還暦です。もう一度1972年に還って、37年前にそうしたように、壁を塗り、柱を建て、一度外した窓やドア、カウンターを組み上げて、ミルクホールを今のこの形に再現し、11月、再びミルクホールを皆様のもとへお返ししたいと思っています。

ミルクホールをもう一度再生して、この先も、子や孫の代まで、50年、100年と繋いで行きたいという事が私達の夢です。いつまでもここに残っている事。それが、ミルクホールより、次世代への伝言なのです。

HISTORY

場所の記憶 No.43

KAMAKURA ミルクホールのルーツ No.29

上のスチール写真は、ミルクホールが映画「ツイゴイネルワイゼン」の撮影で使われた時の、懐かしい映像です。撮られたのは1979年だったと思います。30年以上前のことですから、私達にとっては貴重な記念すべき映像です。建物や部屋、お店などは不思議なものです。この写真一枚に関わった人達の様々な思いや、そのときのエネルギーが感じられます。そして、今現在も、この場所に記憶として刻まれているのです。

Information

ミルクホールタイムス総集編
「鎌倉ミルクホールタイムス」

No.001 ~ No.100 ¥1500

ミルクホールタイムスを創刊号より、
100号まで編集いたしました。
鎌倉の猫事情を第一話より第一部の
終わりまで掲載しています。





古布・古裂

ものの市

2/27 Sat. 28 Sun.

春のきもの 新入荷

春のきもの、帯、小物などのバーゲンです

きもの 30% ~ 50% off

ミルクホールのアンティーク着物を放出します

帯 20% ~ 50% off

和の小もの アンティークの帯・小物放出!

古布

日本の上質な絹もの
1mより 色々

大島紬・絞り・銘仙など

1mにつき1000円ほどの価格です。
ご自分で色々なものをお作りになる
方達のご要望に合わせて、多種多様な日本の布地を取り揃えています。

端布組み合わせ
¥300より



半衿・帯揚げ

昔の着物をほどこして絹の半衿と帯揚げを仕立てました。着物のおしゃれのポイントは半衿です。同じ着物も、半衿を変えるだけで、別の着物のように生まれ変わります。貴方のアイデアで、半衿と着物、帯と帯揚げ、帯締めなどを組合わせた個性的なコーディネートを考えてみませんか。

★無地の半衿 ¥500より
★銘仙・絞りなど ¥800より

着物・アンティーク古着

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザイン着物や、大島紬なども。買いやすいお値段で入荷しています。

大島紬	¥9800より	絞り	¥48000
久留米紬	¥7800より	銘仙	¥6500より
お召し	¥6800より	小紋	¥3800より

ANTIQUE

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

★★大正時代ガラス水屋 2段
★★カウンターテーブル ミシン脚 2種
★★明治・大正時代小箆笥各種
★★明治時代衝立・昭和初期衝立
★★日本の建具・窓各種
★★明治～昭和文机各種
★★裁縫台各種
★★大正時代ガラスケース各種

古陶磁

伊万里・古伊万里・
明治ペロ藍・大正色絵等々
★★古伊万里そば猪口
★★幕末伊万里染付け色々
★★明治錦絵七寸皿
★★伊万里錦絵小皿5枚組
★★織部長皿・瀬戸豆皿
★★古伊万里豆皿・なます
★★発掘陶片・山茶碗など
★★中国・朝鮮の古陶磁

★高麗・李朝の碗・壺
★アフガン石仏
★道教壁画(部分)
★漢時代瓦・新羅高杯など

アンティーク

★★大正時代ランプシェード
★★大正・昭和初期色ガラス各種
★★明治・大正のガラス各種
★★デッドストック 洋食器各種
★★50'S眼鏡屋ポスター油絵
★★掛け時計・腕時計など
★★スタンドグラス
★★蓄音機・レコード盤・針
★★額絵いろいろ
★★トランク・バッグなど

古民芸

★★大正時代鏡台
★★漆碗・茶托・御膳
★★明治道具箱・樽など
★★李朝石鍋 珍品
★★常滑壺 ★越前壺

